

伊勢原市子どもの貧困対策に関する取組方針（案）のパブリックコメントの実施結果について

伊勢原市パブリックコメント実施要綱に基づき、伊勢原市子どもの貧困対策に関する取組方針（案）について、パブリックコメントを実施しました。

1 パブリックコメントの実施結果

(1) 意見募集期間

令和2年10月15日（木）から令和2年11月13日（金）まで

(2) 周知方法

広報いせはら10月15日号、市ホームページ

(3) 閲覧場所

市役所1階ロビー、担当窓口、各公民館、市ホームページ

(4) 提出意見

9件（3人）

(5) 意見の要旨及び市の考え方

次表のとおり

[対応区分]

A：意見の趣旨が取組方針案に反映されているもの

B：意見を踏まえ、取組方針案の修正を検討するもの

C：意見として承ったもの

No.	意見の要旨	対応区分	市の考え方
1	アンケートに答えなかった家庭の中に、より困難な家庭が含まれていたのではないか。	A	アンケートに回答していただいた方以外の方の様子を把握する方法として、関係機関等の支援者を対象としたヒアリング調査を実施しました。
2	教育相談、訪問型家庭支援、適応指導教室の3つの事業は連携が必要だと思う。	C	貴重なご意見として承ります。
3	学習支援事業は周知しているのか。公共施設を利用した学習スペースの提供は、小・中学校の空き教室を利用したらどうか。	C	学習支援事業は、市とNPO法人のホームページに掲載し事業の周知を行っています。 また、学習スペースの拡充については、貴重なご意見として承ります。

No.	意見の要旨	対応区分	市の考え方
4	「母子家庭高等職業訓練給付金」や「母子家庭等自立支援教育訓練給付金」は、父子家庭が受給することができない印象を受けるので、名称変更してほしい。	C	事業名称の変更については、貴重なご意見として承ります。
5	JR通勤定期乗車券の購入割引は、市内にJRの電車が走っていないのに、この制度を継続する意味はあるのか。	C	通勤で乗り換えによりJRの電車を利用する方からの申請があります。引き続き、経済的支援の一環として、当制度の支援を進めてまいります。
6	外国籍の子どもの貧困対策も充実してほしい。	A	国籍に関わることなく、生活に困難を抱えている世帯に対して適切な支援を図ります。
7	困っている人の実態やニーズの把握、提供できる支援の管理を行い、それらを速やかにつなぐシステムを運用してほしい。	A	子育てに関する切れ目ない総合的な相談・支援の体制を構築し、適切な支援機関や支援施策につなぐ取組を庁内関係部署が一体となって進めています。
8	食事の提供、勉強をみるところ、放課後の居場所が一つになったところが将来的にあるとよいのではないか。	C	放課後の居場所を確保する一つの取組として、学習支援や子ども食堂を運営するNPOを支援するなどの事業を実施しており、今後も継続していきます。今後の方向性の貴重なご意見として承ります。
9	野菜や果物の生産者や店舗等から、食べられるけれど販売はできない品物を提供してもらい、支援に回すシステムを作るとフードロスにもつながるのではないか。	A	環境美化センターが実施するフードドライブで寄付のあった食材を、子ども食堂へ橋渡しする試みを行っています。